



学校だより

# しるばと

No. 3

高岡市立西条小学校  
平成30年6月18日



## “ 小さい勇気をこそ ”

校長 大門 信吉

毎朝の挨拶運動とともに、校舎内を回ることが私の日課の一つとなっています。「真剣に学習しているかな?」「気がかりな子供はいないかな」と、廊下から時には教室に入って授業の様子を参観します。

先日、ある教室の前を通りかかったとき、道徳の時間、子供が黒板の前に出て、教師と役割演技（登場人物になりきり、ある場面を演技する）をしていました。

子供：「だめだ。あの鳥を打ってはだめだ！」（鳥を守ろうと殿様の前に立ちはだかる太郎役）

教師：「どけっ。じゃまをするとおまえも仕留めてしまうぞ！」（弓で鳥を討とうとする殿様役）

二人の迫真の演技に思わず足を止め、授業の様子を見ることにしました。

物語のあらすじは、こうです。「ある村に『よわむし太郎』とよばれる男がいました。ある日、この国の殿様が村へやってきました。狩好きな殿様は、子どもたちとよわむし太郎が大切に世話をしていた白い鳥を討とうとします。その時、太郎は殿様の前へ立ちはだかります。そして、大きな涙をこぼしながら鳥を助けるよう頼み、最後まで鳥を守り通しました」というお話です。

はじめは、「自分だったら、怖くて逃げると思う」「あきらめるだろう」と太郎の行動を冷めた目でとらえていた子供たちでしたが、次第に太郎に自分自身を重ね合わせ「怖いけど、今まで子供たちが大切に育ててきた鳥だから殺したくない」「ほんとは死にたくないけど、とにかく守りたいという気持ちが強かったんだと思う」と思いを語り出しました。終末には「殿様もけっこう優しいんじゃないか?」「太郎が鳥を守りたいという気持ちを理解してくれた殿様もすごい」など、見る立場を変えたり、友達の考えを参考にしたりしながら話合いがぐんと深まっていきました。

授業後、振り返りカードには「今日、本当の勇気を学んだかなと思います」「相手が殿様であっても大切な白い鳥を守る、よわむし太郎ではなく強い勇気のある太郎だと思いました」と記されていました。子供たちはこの一時間で、「どのような状況でも正しいと思うことを行動に移すことの大切さ」を感じ取ったことでしょう。

教室を出たあと、ふと、日本のペスタロッチ（スイスの教育家）と呼ばれた東井義雄先生の「小さい勇気をこそ」という詩を思い出しました。それは「小さい勇気を軽（かる）んじると、大きい勇気もつかめない」という内容の詩です。（裏面に掲載）

子供たちから、「勇気とは何か」を改めて考えさせられた、貴重なひとときとなりました。



# 祝

### 西条小学校PTA 環境大臣表彰 受賞!

6月13日(水)、西条小学校 PTA が「環境保全功労者等環境大臣表彰」を受賞しました。これは、昭和の時代から、PTA が中心となって続けてきた地下道清掃等の取組が認められたものです。地域ぐるみでの校下の環境整備が実を結んだものと言えます。近年は1年生と6年生の親子がペアとなり、校下の地下道清掃に取り組んでいただいております。今回の受賞を契機とし、子供たちに自分たちの町をきれいにしていこうとする心を育てて参りたいと思います。今後ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 学習参観、スマホ安全教室へのご参加を!



先にご案内しましたとおり、6月22日(金)の学習参観(道徳)にあわせてスマホ安全教室を開催します。講師の話をもとに「SNSに潜む危険から子供をどう守るか」を共に考えましょう。

多数のご参加をお待ちしております。